

正味財産増減計算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
I 一般正味財産の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	25,014	30,000	△ 4,986	
基本財産受取利息	25,014	30,000	△ 4,986	
② 特定資産運用益	7,076	7,569	△ 493	
特定資産受取利息	7,076	7,569	△ 493	
③ 事業収益	322,266,800	318,204,400	4,062,400	
埋蔵文化財発掘調査事業収益	201,400,000	158,790,000	42,610,000	
埋蔵文化財出土品整理事業収益	102,610,000	139,030,000	△ 36,420,000	
管理運営事業収益	14,104,800	14,882,400	△ 777,600	
その他事業収益	4,152,000	5,502,000	△ 1,350,000	
④ 雑収益	460,900	583,530	△ 122,630	
雑収入	460,900	583,530	△ 122,630	
経常収益計	322,759,790	318,825,499	3,934,291	
(2) 経常費用				
① 事業費	280,070,295	275,560,685	4,509,610	
報酬	10,176,042	7,959,374	2,216,668	
給料	37,040,400	43,742,985	△ 6,702,585	
職員手当	23,213,754	28,227,327	△ 5,013,573	
共済費	11,104,709	12,849,552	△ 1,744,843	
賃金	84,007,897	80,781,589	3,226,308	
報償費	29,477	249,500	△ 220,023	
旅費	3,055,636	1,757,697	1,297,939	
需用費	15,638,183	17,786,214	△ 2,148,031	
役務費	1,980,478	1,973,840	6,638	
委託料	6,765,404	7,844,521	△ 1,079,117	
使用料及び賃借料	67,306,874	49,703,781	17,603,093	
退職給付費	5,992,657	8,127,665	△ 2,135,008	
公租公課	1,500	2,200	△ 700	
消費税	13,757,284	14,554,440	△ 797,156	
② 管理費	42,689,495	43,264,814	△ 575,319	
給料	10,291,500	12,468,015	△ 2,176,515	
職員手当	6,737,409	6,743,874	△ 6,465	
共済費	4,310,925	4,955,198	△ 644,273	
賃金	7,711,329	4,991,748	2,719,581	
報償費	172,800	172,800	0	
旅費	576,578	404,041	172,537	
需用費	5,858,015	6,012,493	△ 154,478	
役務費	1,454,677	1,544,554	△ 89,877	
使用料及び賃借料	1,576,187	935,951	640,236	
負担金	82,800	51,000	31,800	
公租公課	600	1,000	△ 400	
委託料	54,000	540,000	△ 486,000	
福利厚生費	1,042,627	1,020,058	22,569	
退職給付費	446,432	988,422	△ 541,990	
消費税	2,373,616	2,435,660	△ 62,044	
経常費用計	322,759,790	318,825,499	3,934,291	
当期経常増減額	0	0	0	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高	3,030,837	3,030,837	0	
一般正味財産期末残高	3,030,837	3,030,837	0	
II 指定正味財産の部				
基本財産運用収益	25,014	30,000	△ 4,986	
一般正味財産への振替額	△ 25,014	△ 30,000	4,986	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	10,000,000	10,000,000	0	
指定正味財産期末残高	10,000,000	10,000,000	0	
III 正味財産期末残高	13,030,837	13,030,837	0	

正味財産増減計算書内訳表

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計					法人会計	合計
	公1	公2	公3	共通	小計		
I 一般正味財産の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
① 基本財産運用益	0	0	0	25,014	25,014	0	25,014
基本財産受取利息	0	0	0	25,014	25,014	0	25,014
② 特定資産運用益	0	0	0	0	0	7,076	7,076
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	7,076	7,076
③ 事業収益	176,782,964	84,537,541	18,256,800	0	279,577,305	42,689,495	322,266,800
埋蔵文化財発掘調査事業収益	176,782,964	0	0	0	176,782,964	24,617,036	201,400,000
埋蔵文化財出土品整理事業収益	0	84,537,541	0	0	84,537,541	18,072,459	102,610,000
管理運営事業収益	0	0	14,104,800	0	14,104,800	0	14,104,800
その他事業収益	0	0	4,152,000	0	4,152,000	0	4,152,000
④ 雑収益	0	0	460,900	0	460,900	0	460,900
雑収入	0	0	460,900	0	460,900	0	460,900
経常収益計	176,782,964	84,537,541	18,717,700	25,014	280,063,219	42,696,571	322,759,790
(2) 経常費用							
① 事業費	176,803,222	84,547,228	18,719,845	0	280,070,295		280,070,295
報酬	10,176,042	0	0	0	10,176,042		10,176,042
給料	17,444,466	17,464,434	2,131,500	0	37,040,400		37,040,400
職員手当	9,249,529	10,543,032	3,421,193	0	23,213,754		23,213,754
共済費	4,534,530	4,767,272	1,802,907	0	11,104,709		11,104,709
賃金	49,475,912	31,977,521	2,554,464	0	84,007,897		84,007,897
報償費	0	0	29,477	0	29,477		29,477
旅費	2,899,709	0	155,927	0	3,055,636		3,055,636
需用費	6,093,746	6,354,566	3,189,871	0	15,638,183		15,638,183
役務費	735,920	1,122,728	121,830	0	1,980,478		1,980,478
委託料	699,009	2,582,225	3,484,170	0	6,765,404		6,765,404
使用料及び賃借料	65,051,071	1,706,949	548,854	0	67,306,874		67,306,874
退職給付費	2,919,067	2,627,160	446,430	0	5,992,657		5,992,657
公租公課	0	1,300	200	0	1,500		1,500
消費税	7,524,221	5,400,041	833,022	0	13,757,284		13,757,284
② 管理費						42,689,495	42,689,495
給料						10,291,500	10,291,500
職員手当						6,737,409	6,737,409
共済費						4,310,925	4,310,925
賃金						7,711,329	7,711,329
報償費						172,800	172,800
旅費						576,578	576,578
需用費						5,858,015	5,858,015
役務費						1,454,677	1,454,677
使用料及び賃借料						1,576,187	1,576,187
負担金						82,800	82,800
公租公課						600	600
委託料						54,000	54,000
福利厚生費						1,042,627	1,042,627
退職給付費						446,432	446,432
消費税						2,373,616	2,373,616
経常費用計	176,803,222	84,547,228	18,719,845	0	280,070,295	42,689,495	322,759,790
当期経常増減額	△ 20,258	△ 9,687	△ 2,145	25,014	△ 7,076	7,076	0
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 20,258	△ 9,687	△ 2,145	25,014	△ 7,076	7,076	0
一般正味財産期首残高	0	0	0	0	0	3,030,837	3,030,837
一般正味財産期末残高	△ 20,258	△ 9,687	△ 2,145	25,014	△ 7,076	3,037,913	3,030,837
II 指定正味財産の部							
基本財産運用収益	0	0	0	25,014	25,014	0	25,014
一般正味財産への振替額	0	0	0	△ 25,014	△ 25,014	0	△ 25,014
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	10,000,000	10,000,000	0	10,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	0	10,000,000	10,000,000	0	10,000,000
III 正味財産期末残高	△ 20,258	△ 9,687	△ 2,145	10,025,014	9,992,924	3,037,913	13,030,837

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況は存在していない。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券については、移動平均法による原価法を採用しており、金額の重要性が乏しいため償却原価法を適用していない。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

当方では棚卸資産は所有していない

(3) 固定資産の減価償却の方法

減価償却は定額法による。(ただし、当方では減価償却を必要とする資産を所有していない。)

(4) 引当金の計上基準

退職給付引当金については、退職時の予想給付額のうち、期末時点までの期間に対応する額を基本として計上している。

(5) リース取引の処理方法

金額の重要性が少ないため、通常の賃貸借取引に係る方法で処理している

(6) 消費税等の会計処理

消費税は税込方式を選択している

3. 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
有価証券	9,990,000	0	9,990,000	0
定期預金	10,000	9,990,000	0	10,000,000
小 計	10,000,000	9,990,000	9,990,000	10,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	68,071,121	6,446,165	0	74,517,286
長期未収入金	8,872,835		661,304	8,211,531
小 計	76,943,956	6,446,165	661,304	82,728,817
合 計	86,943,956	16,436,165	10,651,304	92,728,817

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
有価証券	0	(0)	—	—
定期預金	10,000,000	(10,000,000)	—	—
小 計	10,000,000	(10,000,000)	—	—
特定資産				
退職給付引当資産	74,517,286	—	—	(74,517,286)
長期未収入金	8,211,531	—	—	(8,211,531)
小 計	82,728,817	—	—	(82,728,817)
合 計	92,728,817	(10,000,000)	—	(82,728,817)

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
基本財産 定期預金 (JAバンク板野)	10,000,000	10,001,500	1,500
合 計	10,000,000	10,001,500	1,500

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産運用益の振替額	25,014
合 計	25,014

7. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

種 類	法人等の名称	住所	資産総額	事業の内容又は職業	議決権の所有の割合	関係内容		取引の内容	取引金額	科目	期末残高
						役員の兼務等	事業上の関係				
当法人を支配する法人	徳島県	徳島市万代町1丁目1	—	—	—	理事 2人 監事 1人	全業務の受託	発掘調査業務等の受託	322,266,800 円	未収金	42,802,100 円

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

徳島県立埋蔵文化財総合センターの管理運営業務については、平成18年度から当財団が指定管理者として選定されている。発掘調査等の業務については、財団の職員体制等を勘案し、必要経費を積算の上、見積書を提出している。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記に記載している。

2. 引当金の明細

財務諸表の注記に記載している。